

Never Never Never

Give Up!!

自由民主

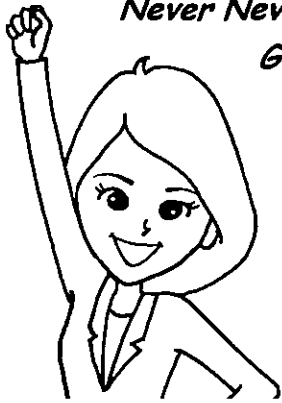


自由民主党神奈川県第 17 選挙区支部長 牧島かれん

かれん新聞

<http://www.makishimakaren.com>

自由民主党神奈川県第 17 選挙区支部 〒250-0862 小田原市成田 178-1 TEL 0465-38-3388



今年も残すところあと一ヶ月となりました。心穏やかに二〇一〇年を締めくくりたいのですが、国際情勢では不穏な動きが続いています。

二〇一〇年十一月二十三日、北朝鮮が韓国の延坪島を砲撃。兵士二名、民間人も二名死亡する大惨事になりました。被害者の方々のご冥福を祈るとともに、今も不安の中で生活している皆さんの一刻も早い生活と心の回復を願っています。

しかし今回の事件は対岸の火事ではありません。私たちはこれを機に、日本の危機管理、情報管理の重要性を再認識し、今後、" に向けた話し合いをはじめなければなりません。"

北朝鮮による砲撃事件に

どう対処すべきか

現政権下の初動対応の遅れ、危機意識の低さが露になってきています。事件発生を国民と同じタ

イミングの「報道」によって知らされ、その上、首相官邸には事実把握から70分以上も政治家がゼロ。関係閣僚会議までに要した時間は6時間。リーダーによる第一声は、「情報収集」であり、砲撃への「非難声明」までは7時間が経過していました。真夜中に事件を把握したアメリカからも遅れを取った形となりました。

隣国での事件、そして北朝鮮の核兵器が日本を射程圏内に収めているという事実を述べるまでもなく、今回の日本政府の対応のスピードは問題視されるべきだと思いますし、私たち国民もそのことに危機感を持つべきだと考えます。

しかし、この緊張関係は継続中です。問題の糾弾は大事なことでありますが、同時に、今後の対応についても迅速に議論を進めるべきでしょう。北朝鮮による再度の砲撃の可能性も否定できませんし、砲撃の目的がアメリカを六者協議へ引き吊り出すことであれば、その標的が日本であったとしても不思議ではありません。

今後、どのような攻撃があった場合には、いつ誰がどの組織を立ち上げ、どんなルートで声明を発表し、日本は如何なる対応をすべきか。韓国との連携はどこまで進めるのか。今国会ではそこまで踏み込んだ議論を行って欲しいと思っています。

アクションプラン

のシミュレーションを

私がアメリカのNHKでインタビューをしていたとき、「キューバ危機」の話題がよく上っていました。キューバ危機とは、ソ連製の核ミサイルがキューバに配備されたことを機に、1962年10月15日から13日間に渡って米ソ間の冷戦の緊張が核戦争寸前まで達した危機のことを言います。この危機への対応をシミュレーションすることは、政治の現場に身を置く人が必ずすべきことだと言われてきました。そして現在私は母校のICUで、留学生中心の大学院生クラスを受け持っています。

すが、キューバ危機をテーマに、ソ連とアメリカのチームに分かれて、どのタイミングで何のカードを切るのか、というシミュレーション授業を行っています。

現在、日本の防衛省、海上保安庁、警察など、国家の治安を担っている現場では、ルール作りやシミュレーションが徹底されていると思います。しかし、一番の根幹である政府が、危機に対するシミュレーションを行っているようには思えないのが問題です。

11月25日に、神奈川自民党の落選支部長たちが結成した「国政調査会」でユーストリーム中継を行いました。(ユースト中継は毎月開催していますので、ぜひ視聴を！) 今回の北朝鮮砲撃事件がテーマでしたが、「周辺事態」の認定を即座に行わなかったことが問題だったという意見が出ました。「周辺事態」に相当するとの判断を下せば、「安全保障会議」が開かれます。この安全保障会議では統合幕僚長などの軍事的事項に関する専門のアドバイザーを招集することが可能なのです。高度

な政治的判断が必要な場合には、即時に専門家たちも含めた安全保障会議を開くべきだと考えます。

情報(インテリジェンス)

機関の設立を

突然の砲撃という突発的、テロ的な事件に対して、日本の組織体系は脆弱であることが露呈されました。前回のかれん新聞(VOL 24)の尖閣諸島の問題でも提起させて頂きましたが、今や国家の安全を守る上で、情報(インテリジェンス)は重要なポイントです。確かに日本では情報戦線や情報管理に対してネガティブな印象があるように思います。アメリカのテレビドラマ 24 のジャック・バウワーやジェームス・ボンドへは親しみがあつたとしても、スパイ映画の延長で捉えてしまいがちです。もちろん、「スパイ防止法」について腰を据えて議論を行う時期であることは言うまでもありません。

一方で、世界情勢を見てみても、国家の安全を守る上で、情報(インテリジェンス)の管理と掌握は国家戦略の中で重要な位置を占め、危機的状況を回避し、国家間交渉を行うのに避けて通れなくなっています。昔は各国の政治家同士の公式・非公式に亘る外交などが行われていましたが、国としての機関を設立すべきと考えます。

今回のような事件で改めて感じるのは、インテリジェンスを集め、玉石混淆の情報をより分け、分析し、それを政府に伝達できる人材の確保と、機関の必要性です。以前にも日本版NSC構想が持ち上がり頓挫していますが、日本の情報機関として日本版CIAを創るくらいの覚悟とエネルギーを裂くことが今後重要になってくると考えています。

情報戦線に立ち遅れば、国家の致命傷になることを自覚しなければならぬ時が来ているように思います。

皆様のご意見をお聞かせください。



牧島かれん事務所

(自民党神奈川県第 17 選挙区支部)

Twitter: @makishimakaren

住所: 小田原市成田 178-1

TEL: 0465-38-3388

FAX: 0465-38-4400

ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。

今年もありがとございました。
新聞発行(2回(毎月))
馬立ちでの新聞配布(毎回)
お茶会(3回)
企画・講演・町会(10回) (国際関係(教育、文化体験、町会等))
2-ストリーム中継(4回)
ツィッター・フォロー 3412人
みんなの出会いと出会いに感謝しています。
来年も宜しくお付き合い致します。牧島かれん